



# ADRC Highlights

Vol.93

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

May 16, 2004

## ➤ 第9回 ISDR タスクフォース会議が開催

2004年5月4～5日、ジュネーブの国連本部において、第9回 ISDR タスクフォース会議が開催され、メンバー約50名の他、オブザーバーとして各国代表約100名が参加しました。タスクフォースのメンバーである ADRC からは、西川所長、角崎主任研究員、荒木田主任研究員、芳永管理課長が出席しました。今回のタスクフォース会議は、昨年12月の第58回国連総会後初めて開かれた会議で、国連総会決議 (A/RES/58/214) により2005年1月兵庫県神戸市で開催することに決まった国連防災世界会議について、多くの議論が活発に行われました。



まず、エゲラン国連人道問題担当事務次長から冒頭挨拶があり、続く5月6～7日の世界会議準備委員会第1回会合に向けて、タスクフォース会議での活発かつ有意義な議論を期待するとの発言がありました。開発途上国だけでなく先進国においても、災害リスクや脆弱性の軽減は重大な課題であり、世界会議において具体的な提案が期待されているとの発言もありました。また、世界気象機関 (WMO) のヤン事務次長、国連大学・環境と人間の安全保障研究所 (UNU/EHS、ボン) のボガルディ所長、そして国際赤十字赤新月社連盟 (IFRC) のオスマン政策・渉外局長による基調講演がありました。日本からは、在ジュネーブ日本政府国連機関代表部の遠藤大使ならび内閣府の原田審議官他が出席し、遠藤大使は世界会議のホスト国としての期待を述べられました。

引き続いて、世界会議の重要な目標である横浜戦略のレビューに関する現状や、世界会議の準備状況、成果案などについて ISDR 事務局から報告があり、これらについても質疑応答が行われました。ADRC からは西川所長が次の点において意見を述べました。(1)災害予防は将来への投資と見るべきである、(2)復旧・復興過程に防災(予防)の視点をとり入れることが重要、(3)地域の実情に即した防災活動など地域毎の検討が必要。

また、タスクフォースのワーキンググループやメンバー間の活動報告があり、ADRC からは、最近主催した横浜戦略レビューに関連したイベント(例:第2回早期警報国際会議で行なった日本政府主催のハザードマップに関するセッション、総合的な防災(TDRM)に関する国際会議、アジア防災会議2004、第1回・第2回国際防災オープンフォーラムなど)、および5月3日に行なわれた GLIDE の会合などの結果報告を行いました。

ISDR 創立時から今まで活動していた4つのワーキン

ググループのうち、「気象と災害」、「早期警報」、「森林火災」の3つがそれぞれ成果を出したことで解消されることとなり、「リスクと影響評価」のグループは年末まで活動を続けることになりました。代わって、次の4つの新たなワーキンググループが形成されることになりました。「国連防災世界会議」、「都市災害リスクと脆弱性軽減」、「気候変動への適応のためのリスク軽減」、「アフリカにおける防災」。このうち ADRC は、「国連防災世界会議」および「都市災害リスクと脆弱性軽減」のワーキンググループの活動に参加することにしました。

なお、同会議に関する詳細は、ISDR のホームページ (<http://www.unisdr.org>) をご覧ください。

## ➤ 国連防災世界会議準備委員会第1回会合も開催

前述の第9回 ISDR タスクフォース会議に引き続き、20翌5月6～7日には、同じくジュネーブの国連本部において国連防災世界会議準備委員会第1回会合が開催されました。

準備委員会の参加メンバーは、国連総会決議に基づいて、各国政府のみならず、タスクフォースのメンバーや国際機関、地域機関、研究機関、NGO などにより構成されることになっており、各代表者が参加しました。日本政府からは、遠藤大使、原田内閣府審議官、兵庫県齋藤副知事他が参加し、ADRC からはタスクフォース会議と同様、西川所長他計4名が出席しました。



まず、原田審議官が行った冒頭挨拶では、世界会議の達成すべき目標に係る日本政府の提案を述べ、そのコンセプトを紹介しました。続いて、兵庫県齋藤副知事より世界会議開催の地元ホストとしての期待の表明がありました。その後、世界会議について手続きや運営に関する規則、NGO 等の参加認定基準、横浜戦略のレビューの進捗状況、世界会議の成果などについて、活発な意見交換と質疑応答が交わされました。

この準備会合を通して、各国政府をはじめとする関係機関・団体が世界会議の成功を目指し協力して行くことで意見が一致しました。最後に、世界会議の事務局である ISDR 事務局より、各国の防災関連情報(カントリーレポート)を6月15日までに提出するよう依頼がありました。次回の会合は、10月11～12日(10月7～8日の第10回タスクフォース会議の後)に開催される予定です。なお、今会合に関する詳細は、ISDR のホームページ (<http://www.unisdr.org>) をご覧ください。

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F

E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp)

TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行(予定)